輸出額・輸入額ともに3年連続で増加 ~ 平成24年 福岡市の外国貿易 ~

門司税関から平成24年外国貿易年表が公表されましたので、今月号の特集は、博多港(博多税関支署)と福岡空港(福岡空港税関支署)における貿易の概要について紹介します。[注]

1. 概況

輸出額・輸入額ともに3年連続で増加

平成24年の両港における輸出額は2兆 1,685億円で,前年と比べて1,159億円増 (対前年増加率5.6%)となり,3年続け て増加しました。

港別に見ると、博多港は1兆6,374億円で前年より1,538億円増(同10.4%)となりましたが、福岡空港は5,312億円で379億円減(同 \triangle 6.7%)となっています。

また, 両港における輸入額は, 1兆2, 221

億円(同7.7%)で、輸出と同じく3年連続の増加となりました。

港別に見ると,博多港は8,549億円で241億円増(同2.9%),福岡空港は3,672億円で637億円増(同21.0%)となっており,福岡空港は2年ぶりに増加となりました。

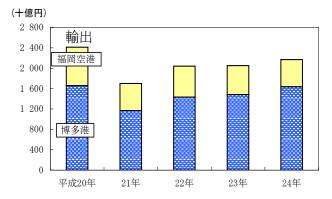
なお,貿易収支は9,464億円の輸出超過 となっています。(表1,図1)

2. 輸出

機械類及び輸送用機器が約6割

輸出品別に輸出額を見ると,機械類及び輸送用機器が前年より8.2%増の1兆3,354億円(構成比61.6%)で最も多く,約6割を占めています。その中でも輸出額4,636億円(同21.4%)の半導体等電子

図1 貿易額の推移



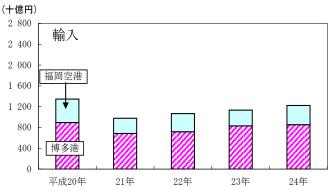


表1 貿易額の推移

(単位:百万円,%)

		支署計		博	多港(博多	5税関支署)		福岡空港(福岡空港税関支署)				
年	輸出額	対前年 増加率	輸入額	対前年 増加率	輸出額	対前年 増加率	輸入額	対前年 増加率	輸出額	対前年 増加率	輸入額	対前年 増加率
平成20年	2 411 680	2. 7	1 346 074	△ 6.5	1 660 071	7. 2	895 048	△ 2.6	751 609	△ 6.0	451 026	△ 13.2
21年	1 702 149	△ 29.4	977 679	△ 27.4	1 169 495	\triangle 29.6	684 772	△ 23.5	532 654	△ 29.1	292 907	△ 35.1
22年	2 041 598	19.9	1 067 776	9. 2	1 434 674	22.7	719 154	5.0	606 924	13.9	348 622	19.0
23年	2 052 666	0.5	1 134 298	6. 2	1 483 571	3.4	830 794	15. 5	569 095	△ 6.2	303 504	△ 12.9
24年	2 168 525	5. 6	1 222 085	7. 7	1 637 352	10. 4	854 921	2. 9	531 173	△ 6.7	367 164	21. 0

【注】 文中、表中及び図中の「博多港」とは博多税関支署において、「福岡空港」とは福岡空港税関支署において、それぞれ通関手続きが行われた輸出申告書及び輸入申告書に基づいた数値を表しています。なお、通関手続きが行われた税関と積出港とは必ずしも一致しません。

部品や, 2,947億円(同13.6%)の自動車 が大きな割合を占めています。

港別に見ると,博多港では,輸出額2,947億円 (構成比18.0%)の自動車,2,216億円(同13.5%)の半導体等電子部品,1,885億円(同11.5%)のゴムタイヤ及びチューブなどが大きな割合を占めています。

福岡空港では,多くの品目で前年より 減少する中,輸出額が17.1%増の2,420億 円(構成比45.6%)となった半導体等電 子部品,739億円(同13.9%)の金(マネ タリーゴールドを除く),320億円(同6.0%)の再輸出品などが大きな割合を占めています。(表2・3,図2)

3. 輸入

機械類及び輸送用機器が約4割

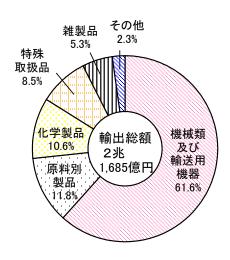
輸入品別に輸入額を見ると、機械類及 び輸送用機器が前年より16.4%増の 4,760億円(構成比38.9%)で最も多く、 約4割を占めています。次いで食料品及 び動物が2,316億円(同18.9%)、雑製品 が1,591億円(同13.0%)となっています。

表 2 輸出品別輸出額

(単位:百万円,%)

	両税関支署計										
品 名		平成23年									
	輸出	額	構成比	対前年 増加率	Ē	輸出額	額				
総額	2 168	525	100.0	5. 6	2	052	666				
食料品及び動物	21	350	1.0	3. 1		20	712				
飲料及びたばこ	2	836	0.1	76. 9		1	603				
食料に適さない原材料	24	675	1.1	6.0		23	288				
鉱物性燃料		61	0.0	\triangle 32.6			90				
動植物性油脂		48	0.0	\triangle 12.8			55				
化学製品	229	667	10.6	5. 3		218	144				
原料別製品	255	879	11.8	△ 4.8		268	711				
うちゴムタイヤ及びチューブ	188	579	8. 7	\triangle 4.1		196	586				
機械類及び輸送用機器	1 335	405	61.6	8.2	1	234	279				
うち半導体等電子部品	463	560	21.4	26.0		368	008				
うち自動車	294	651	13.6	10.0		267	902				
雑製品	114	695	5.3	13. 2		101	338				
特殊取扱品	183	910	8.5	\triangle 0.3		184	444				
うち再輸出品	109	549	5. 1	5. 6		103	755				
うち金(マネタリーゴールドを除く)	74	361	3.4	△ 7.8		80	689				

図2 輸出品目別構成比 (両税関支署計)



<u>表3 輸出品別輸出額(税関支署別)</u>

(単位:百万円,%)

			多税関支署	·)	福岡空港(福岡空港税関支署)				
品 名		平成24年		平成23年	-	平成23年			
	輸出額 構成片		対前年 増加率	輸出額	輸出額	構成比	対前年 増加率	輸出額	
総額	1 637 35	2 100.0	10. 4	1 483 571	531 173	100.0	△ 6.7	569 095	
食料品及び動物	16 61	1.0	8.2	15 357	4 739	0.9	△ 11.5	5 355	
飲料及びたばこ	2 78	1 0.2	80.9	1 537	55	0.0	△ 16.1	66	
食料に適さない原材料	24 41	9 1.5	7.8	22 646	256	0.0	△ 60.1	642	
鉱物性燃料	4	6 0.0	\triangle 29.8	66	14	0.0	△ 40.3	24	
動植物性油脂	2	9 0.0	\triangle 30.0	41	20	0.0	36. 6	14	
化学製品	166 57	9 10.2	8.0	154 242	63 087	11.9	\triangle 1.3	63 903	
原料別製品	245 20	0 15.0	\triangle 4.4	256 596	10 679	2.0	△ 11.9	12 115	
うちゴムタイヤ及びチューブ	188 45	8 11.5	\triangle 4.1	196 525	121	0.0	100.5	60	
機械類及び輸送用機器	1 010 99	0 61.7	13.0	894 792	324 414	61.1	\triangle 4.4	339 487	
うち半導体等電子部品	221 55	6 13.5	37. 4	161 302	242 004	45.6	17. 1	206 706	
うち自動車	294 65	0 18.0	10.0	267 902	0	0.0	全増	_	
雑製品	92 59	8 5.7	23.0	75 264	22 096	4. 2	△ 15.3	26 074	
特殊取扱品	78 09	8 4.8	23. 9	63 029	105 813	19. 9	\triangle 12.9	121 415	
うち再輸出品	77 59	9 4.7	34.8	57 576	31 950	6.0	△ 30.8	46 179	
うち金(マネタリーゴールドを除く)	49	9 0.0	△ 90.8	5 452	73 862	13.9	△ 1.8	75 237	

港別に見ると,博多港では,輸入額が 11.3%増の664億円 (構成比7.8%)となった魚介類 (生鮮・冷凍),19.2%増の407 億円 (同4.8%)となった事務用機器など が大きな割合を占めています。

福岡空港では,輸入額が17.5%増の 1,363億円(構成比37.1%)の半導体等電 子部品,97.8%増の495億円(同13.5%) の再輸入品などの割合が高くなっていま す。(表4・5, 図3)

4. 貿易の相手国

中国からの輸入額は3年連続の増加

相手国別に輸出入額を見ると,輸出では中国が6,552億円(構成比30.2%)で最も多く,約3割を占めています。次いで3,566億円(同16.4%)の韓国,2,085億円(同9.6%)のアメリカ,1,532億円

表 4 輸入品別輸入額

(単位	:	百万円,	%)

	両税関支署計									
品 名	平成24年 平成23									
	輸入	額	構成比	対前年 増加率	輸入	額				
総額	1 222	085	100.0	7. 7	1 134	298				
食料品及び動物	231	573	18.9	3. 3	224	261				
うち魚介類(生鮮・冷凍)	80	873	6.6	15. 4	70	067				
飲料及びたばこ	3	992	0.3	\triangle 5.0	4	203				
食料に適さない原材料	73	048	6.0	△ 17.0	87	964				
鉱物性燃料	25	925	2.1	3.8	24	976				
動植物性油脂	1	285	0.1	9.4	1	175				
化学製品	67	037	5.5	\triangle 9.6	74	157				
原料別製品	119	629	9.8	0.4	119	153				
機械類及び輸送用機器	475	966	38.9	16. 4	408	972				
うち事務用機器	43	286	3.5	16.0	37	327				
うち音響・映像機器(含部品)	57	030	4.7	0.3	56	887				
うち半導体等電子部品	157	290	12.9	26. 3	124	540				
雑製品	159	134	13.0	5. 4	150	983				
うち家具	39	173	3.2	4. 1	37	641				
特殊取扱品	64	497	5.3	67.7	38	455				
うち再輸入品	58	261	4.8	80. 5	32	270				

図3 輸入品目別構成比 (両税関支署計)

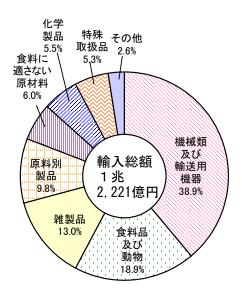


表 5 輸入品別輸入額(税関支署別)

(単位:百万円,%)

	博多港(博多税関支署)						福尚空港(福尚空港税関支署)				
品 名	平成24年				平成2	平成23年		_	平成23年		
	輸入額	構成	沈比	対前年 増加率	輸入	額	輸入	額	構成比	対前年 増加率	輸入額
総額	854 9	21 10	0.0	2. 9	830	794	367	164	100.0	21. 0	303 504
食料品及び動物	215 9	01 2	5.3	1. 5	212	789	15	672	4.3	36. 6	11 472
うち魚介類(生鮮・冷凍)	66 3	89	7.8	11. 3	59	626	14	484	3.9	38. 7	10 441
飲料及びたばこ	3 8	84	0.5	△ 5.9	4	128		107	0.0	42. 9	75
食料に適さない原材料	67 8	59	7.9	△ 18.0	82	763	5	189	1.4	\triangle 0.2	5 201
鉱物性燃料	25 9	16	3.0	3.8	24	963		9	0.0	\triangle 27. 1	13
動植物性油脂	1 2	64	0.1	9. 1	1	159		21	0.0	38. 0	15
化学製品	56 6	28	6.6	△ 13.3	65	281	10	409	2.8	17. 3	8 876
原料別製品	109 2	27 1	2.8	3. 9	105	151	10	402	2.8	\triangle 25.7	14 001
機械類及び輸送用機器	246 4	44 2	8.8	17. 1	210	389	229	522	62.5	15. 6	198 583
うち事務用機器	40 6	55	4.8	19. 2	34	117	2	631	0.7	△ 18.0	3 210
うち音響・映像機器(含部品)	28 2	42	3.3	\triangle 16. 2	33	715	28	788	7.8	24. 2	23 172
うち半導体等電子部品	20 9	45	2.4	146. 5	8	496	136	345	37. 1	17. 5	116 044
雑製品	119 0	18 1	3.9	1.8	116	932	40	116	10.9	17.8	34 051
うち家具	38 7	02	4.5	4.0	37	221		472	0.1	12. 1	421
特殊取扱品	8 7	80	1.0	21. 3	7	237	55	717	15.2	78. 5	31 218
うち再輸入品	8 7	36	1.0	20. 9	7	227	49	525	13.5	97.8	25 043
							l				

(同 7.1%)の台湾, 1, 351 億円(同 6.2%) のシンガポールと続いています。

なお,前年と比較すると,韓国が 0.8%減となったのに対し,中国は 14.2%増,シンガポールは 10.5%増などとなっています。

輸入額は、輸出同様に中国が 4,102 億円 (構成比 33.6%) で最も多く、こちらも約3割を占めています。次いで 1,314億円(同 10.7%) の韓国,1,137億円(同 9.3%) の台湾,996億円(同 8.1%) のアメリカ,637億円(同 5.2%) のタイと

続きます。

前年と比較すると、アメリカが 6.5%減、タイが 18.2%減となったのに対し、中国 が 12.2%増、台湾は 28.3%増となっています。中国からの輸入額は、 3年連続で増加となりました。(表 $6\cdot7$ 、図4)

【資料提供】

門司税関

http://www.customs.go.jp/moji/

財務省 貿易統計

http://www.customs.go.jp/toukei/

図4 主要相手国別貿易額の推移(両税関支署計)

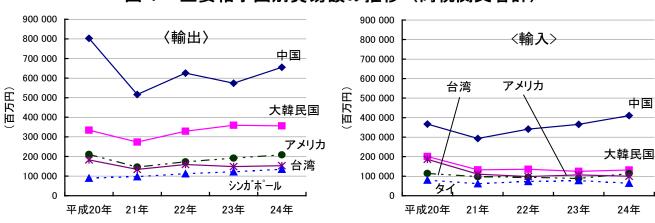


表6 輸出国別輸出額の推移(両税関支署計)

						(単位:1	<u> </u>
国・地域	平成24年	構成比	対前年増加率	23年	22年	21年	20年
総額	2 168 525	100. 0	5. 6	2 052 666	2 041 598	1 702 149	2 411 680
中華人民共和国	655 177	30. 2	14. 2	573 696	625 328	516 088	802 891
大 韓 民 国	356 646	16. 4	△ 0.8	359 632	329 352	274 027	334 560
アメリカ合衆国	208 472	9.6	8.6	191 981	172 797	146 709	211 118
台湾	153 248	7. 1	3. 3	148 312	159 433	134 080	182 605
シンガポール	135 138	6. 2	10. 5	122 265	112 148	96 723	89 787
そ の 他	659 844	30.4	0.5	656 780	642 539	534 522	790 719

表7 輸入国別輸入額の推移(両税関支署計)

(単位:百万円,%)

国・地域	平成24年	構成比	対前年 増加率	23年	22年	21年	20年
総額	1 222 085	100.0	7. 7	1 134 298	1 067 776	977 679	1 346 074
中華人民共和国	410 185	33.6	12.2	365 709	340 836	293 217	366 784
大 韓 民 国	131 370	10.7	5.0	125 090	135 173	132 616	201 379
台湾	113 721	9.3	28.3	88 612	94 709	97 249	113 870
アメリカ合衆国	99 586	8. 1	\triangle 6.5	106 512	98 009	110 130	186 602
タイ	63 680	5. 2	△ 18.2	77 817	73 154	61 763	79 784
そ の 他	403 543	33. 0	8.9	370 558	325 894	282 703	397 655